

平成 30 年度 事業報告

岡山理科大学附属高等学校



教育の質的改善に取り組み、サイエンスとグローバルを軸に「探求力・創造力・思考力」を身につけさせ、地域社会から一層信頼される高等学校づくりを推進しました。



本校の最重要課題は、急激にグローバル化している社会に対応することであると考えています。学園の建学の

理念や高校のビジョンを遵守し、以下の項目に重点を置いた学校改革に取り組みました。

○人材育成と教育力の向上

グローバル社会に対応できる人材の育成のために、これまでの教育内容や教育手法に変化をもたせ、自ら考え自ら行動するとともに、サイエンスの技法を用いて、探究心を向上させる教育へと転換しました。また、これらの教育を実現するために、教師力の向上に継続的に取り組みました。

○国際協力と社会貢献

学園が協定を締結している交流協定校との交流を強化し、英語教育を含めグローバル社会で「生き抜く力」を養わせました。また、学校としての使命でもある地域社会との協働において、情報拠点として、地域社会の発展に寄与するよう努めました。

○高大連携と社会連携の強化

岡山理科大学を始めとした関連大学、並びに企業体や研究施設などと連携し、キャリア形成ができるようにしました。また、専門知識や専門的手法を身に付けさせ、

グローバルな視野を併せ持つ人材の養成を行い、資質の向上を図りました。

○組織力の強化

組織の見直しを行うとともに、情報共有の強化や教科会議等を密に実施しました。そして、情報を共有することで、学校組織の向上を図り、教職員の意識改革によって、組織力の強化に取り組みました。

○経営基盤の安定

生徒の確保に向けて学校組織が共同して、広報活動の強化に取り組みました。また、社会的な説明責任を果たし、生徒及び保護者が満足できる学校、地域から認められる学校として発展するように、教職員が丸となって経営基盤の安定に努めました。

岡山理科大学附属高等学校
校長 洲脇 史朗

教育の充実

■サイエンスおよびグローバル教育の推進

サイエンスとグローバルを軸にした新コース編成での教育活動を実施しました。これからの人材に必要な論理的思考力、情報発信能力を身に付けさせる教育を展開しました。

次年度からはコースの特徴をより明確にし、生徒が高い志を持ち勉学に励むことができる環境を整えるため、新たなクラス、コースを設け改編を予定しています。 【1-1】

■新コースの実施

機械科の募集停止と普通科の再編に伴い、新たな指導体制を確立します。特に、普通科においては新たな3コースを設定しました。選択科目を多く設定し、生徒の意欲的な学習を導くグローバルサイエンスコース、将来のIB認定を想定したインターナショナルコース、科学的な側面から体育を学ぶスポーツサイエンスコース、それぞれのカリキュラムが円滑に実施できるように、点検、配慮に努めました。【1-1】

■100分授業・アクティブ・ラーニングの取り組み

生徒が主体的・協働的に授業に取り組み、深い学びを行い、問題発見・解決の能力を身に付けられるように、アクティブ・ラーニングの技法を用いて授業展開しました。アクティブ・ラーニングを効率よく行えるように1コマ当たりの授業時間を100分にしました。 【1-2】

■ICT活用教育の推進

情報活用能力の育成、授業の予習・復習、学習内容の定着のため、新入生全員と一部コースの2・3年生に「Classi」（ベネッセ）を、新入生にはiPadも導入し、ICTを活用した教育方法を推進しました。また、年次進行により、情報機器の増強およびネットワーク環境の拡充（第10・11・12校舎、第5実習棟にWi-Fi設備を設置）を図っています。また、第

10・11校舎にプロジェクターを設置しました。

【1-3】

■国際バカロレア（IB）教育プログラムの導入

学校教育法第一条で定められた学校で岡山県初の国際バカロレア認定校となりました。認定を受けるために本年度特に留意した点は下記の通りです。

- ・学習指導要領とIBの対応を整理し、適切な運用・評価などを考慮したカリキュラムを作成しました。
- ・教員養成として、IBスタッフ全員がワークショップを受講しました。
- ・IBスタッフ会議を毎週火曜日に実施しました。
- ・研修会、教科内研修会、有志による研修会を実施しました。
- ・IBに関する広報・理解の増進のために、講演会を2回実施、IB推進室だよりを4回発行しました。 【1-4】

■関連校との高大連携による質の高い教育の提供

岡山理科大学をはじめとした、関連大学との高大連携教育に継続して取り組んでいます。連携先での聴講、実習を体験することで、多面的でより高度な理解を深めました。特に、岡山理科大学とは授業（1年生がサイエンスワーク実施）に加え、高大接続委員会を通し、大学入試においても連携し、探究心旺盛な生徒の岡山理科大学進学へのロードマップ完成を図っています。 【2-1】

■外部団体、企業等と連携した教育の提供

体験的な教育として、学園と提携する施設等（池田動物園・岡山乗馬倶楽部）での実習により、興味・関心を深めました。 【2-2】

■基礎学力向上への取り組み

学校行事を精選し、より多く授業時間を確保しました。また、補習や諸検定試験、模試等を利用した旧来の指導に加え、「Classi」（ベネッセ）を活用し、生徒の理解に応じた個別学習を指示することにより、基礎学力の向上に取り組みました。 【3-1】

■シラバスの作成

生徒や保護者に授業の目的、進め方や評価内容を明確にするためのシラバスを作成し、年間計画、ポイントを体系的に示し、生徒の学習計画や学習意欲の向上に結びました。【3-2】

■英語教育の強化

生徒の4技能（聞く、話す、読む、書く）をバランスよく伸ばすため、ケンブリッジ大学英語検定機構認定西日本試験センターJP176 と連携し、授業に活用しました。英語科教員はケンブリッジ英検の指導法を研修しました。また、同センター所属の講師が授業を担当し、授業運営に助言をもらいました。ケンブリッジ英検だけでなく、実用技能英語検定も重視し、TOEIC など他の検定にも挑戦するよう指導し、生徒の英語学習へのモチベーション向上を図りました。【4-1】

■教育相談体制の充実

教育相談室に専門職員を配置し、保健室・担任・生徒指導課・管理職との連携を強化し、生徒の学校生活を支援しました。特に配慮が必要な生徒については、授業担当者を含めたケース会を開催し、情報を共有し、適切な指導に努めました。【5-1】

生徒指導

■あいさつ・マナー教育

あいさつ運動を実施し、あいさつ・マナーの向上を目指すとともに、生徒の服装、頭髪の乱れなどへの指導を行いました。また、近隣の通学路に教員を配置し、通学指導も行いました。さらに、PTA と協力した市内保導・列車保導を計 30 回実施しました。【1-1】

■情報モラル指導

ICT を活用した学習を展開するに当たり、情報化社会におけるソーシャルメディアの正しい活用方法

や、リスクについての指導を行いました。外部の専門講師を招いての講義を10月22日に実施しました。【1-2】

進学・就職指導

■進学指導プログラムの充実

希望する大学への合格が叶うよう、学力向上を目指し、夏期特別講座を12日間、冬期特別講座を6日間、センター試験対策講座を15日間実施しました。【1-1】

■関連校への進学支援

進路ガイダンス等で関連大学を紹介する機会を増やし、関連大学への進学意欲を更に向上させました。また、関連大学の学部学科の紹介を職員会議で実施し、教員の理解を深め、生徒指導に役立てる取り組みをしました。【1-2】

■進学先の開拓

関東・関西の大学訪問を行い、本校の教育内容を周知するとともに、指定校推薦卒の獲得を目指しました。【1-3】

■就職試験対策の充実

生徒に合わせた就職指導を行い、就職筆記試験や面接等の対策指導を行いました。【2-1】

■就職先の開拓

企業訪問を行い、これまでの求人企業からの求人獲得に加え、新たな企業への求人獲得に努めました。本年度求人数は1,014人でした。【2-2】

■資格取得のための支援充実

進学・就職時に強みとなる資格取得に向けて、各教科・コースで行っている試験への対策として補習等の支援の充実を図りました。【2-3】

国際交流

■交流協定校との交流

海外の交流協定校を中心として、海外研修（7月マレーシア研修・10月韓国研修・2月オーストラリア研修）、研修団の受入（6月マレーシア、8月タイ・サイエンスキャンプ、1月韓国）を行い、諸外国の人々と交流する機会を積極的に設けました。

【1-1】

生徒募集

■オープンスクール・入試セミナーの充実

4回実施したオープンスクールでは、本校の概要、科コースの特色、部活動等の活動状況、校内設備を中学生・保護者に知らせ、学校として提供できるサービスの周知と理解を図りました。特に、新しいコース・クラスについては、授業見学や体験授業を通して来校者が理解を深められるように努めました。

また、入試セミナーでは、本校の入試制度や出題傾向を重点的に解説し、本校受験への意欲向上に結びました。

さらに、本校のイベントに参加できなかった生徒を対象に学校説明会を12月に実施し、直接学校の様子や入試について説明する機会を設けました。

【1-1】

■ホームページの積極活用

本校のビジョンや教育方針などの基本情報はもとより、FacebookなどSNSも利用しながら、日常の学校生活、教育活動や部活動の状況をニュースとして随時更新することで本校をアピールしました。また、情報を発信することで、相乗効果を高めました。

【1-2】

■中学校訪問・中学校対象説明会

県内および近県の中学校の校長先生や進路担当者に対し、8月から10月に説明会を7回、ならびに中

学校訪問を6回実施し、本校の概要・入試制度を紹介し、中学生への周知を依頼しました。特に、10月に岡山、倉敷の公立中学校の校長対象に説明会を行い、生徒募集について詳しい説明を行いました。

さらに、出身中学校の先生に生徒の姿を見ていただくことにより、本校への理解が深くなるよう、生徒による中学校訪問を5月に実施しました。【1-3】

■塾訪問・塾対象説明会

塾訪問を4回、8月に塾対象説明会を3回実施し、情報交換を行いました。本校の現状を報告し、本校への理解、本校の入試制度についての理解を深めてもらい、生徒への紹介を促しました。【1-4】

■地区別入試説明会

県内、各地区に教員が出向き、地区別に入試説明会を実施しました。直接受験生・保護者に本校をアピールし、より身近に感じてもらい、理解・関心を深めることを目的とし、岡山市内各地域、倉敷市、総社市、瀬戸内市など9回で実施しました。【1-5】

■入試制度の検討と見直し

入試制度の検討および見直しを行い、選抜一期入試において、推薦入試の導入、2日とも出願可能、試験科目の削減（5科目から3科目）など、受験生増につながる入試制度の策定に取り組みました。

【2-1】

内部質保証

■教員の資質向上への取り組み

- ・先進的な教育や取り組みをしている学校等を視察・体験し、職員会議で報告し、本校への導入を検討することで、新たな教育の展開に努めました。
- ・外部講師による講演会、セミナー、ワークショップを実施し、教員の資質向上を図りました。
- ・管理職による授業評価・実務評価と教員自身による目標設定・実績評価を実施し、自己分析す

ることで教育者としての適正を把握するとともに、教育者の能力向上を図りました。【1-1】

■公開授業の実施と検証

学内の教職員および教育関係者等に授業を公開し、指導助言を受けながら、検証を進め授業内容の改善に取り組みました。【1-2】

■生徒等へのアンケートの実施

生徒、保護者に学校評価アンケート、7月と12月に授業アンケート等を実施しました。結果を学校運営や授業へ反映することでより良い教育の提供に努めました。【1-3】

組織力の強化

■学校運営会議の強化

校長、教頭、事務部長、並びに各部署の責任者で構成する組織で、学校全体の運営方針、業務の企画立案、連絡調整の一元化を図りました。

また、審議概要を一斉メールで報告することで、教職員間の情報共有を強化しました。【1-1】

■教科会議の強化・連携

各教科において、教科主任を中心に教科会議を開催し、授業改善、新コースへの取り組み、オープンスクールの企画等を検討しました。また、各教科が集まり合同会議を実施し、教科横断的な情報共有を行い、効率的な生徒の学力向上と円滑な学校行事の運営を図りました。【2-1】

■各種委員会・戦術会議の充実

校務機構における各課委員会の業務内容を見直し、より機能的な委員会組織を目指しました。また、即時的な対応や柔軟な対応が求められる案件が生じた場合は、広報や進路指導など各部署の責任者が中心となる戦術会議を開催しました。【2-2】

■職員会議の強化

教職員が一致協力して教育活動を展開するため、校長の方針や教育課題への方策について、情報共有と意思疎通を強化しました。【3-1】

通信制課程独自の取り組み

3期制・単位制、学年の区別を設けないクラス編成を特色としています。

また、生徒の希望する進路や資質に適合したクラス編成により、次のステップである大学・短大・専門学校への進学を視野に入れた指導を実施しました。

■平日コースの充実

小学校、中学校就学時において、何らかの原因から十分な教育の機会と成果を得ることができていない生徒に対して、平日に週2日の通学を課し、ホームルーム活動、所定の授業、学校行事や各種研修を計画的に実施することにより、自律・協調・継続という社会性と教養を高める指導の充実を図りました。【1-1】

■進路先の開拓と充実

卒業後の進路確定率を向上させるために特別進路講座を開講し、生徒の学力向上を図りました。また、幅広く情報を収集し、就職先の開拓に努めました。【1-2】

主な行事

4月7日	始業式
4月9日	入学式
4月14日	入学式（通信）
5月13日	PTA総会
6月13日～14日	球技大会
7月15日	後援会総会（通信）
7月22日	卒業式（通信）
9月21日	体育祭
9月27日～28日	文化祭
9月29日	文化祭（通信）
12月2日	卒業式（通信）
1月12日	県外生入試
1月31日～2月1日	選抜1期入試
2月22日	選抜2期入試
3月1日	卒業式
3月17日	卒業式（通信制課程）
3月20日	終業式

生徒・教職員数

■在籍生徒数

(平成30年5月1日現在)

課程・学科・コース名		入学定員	入学者数	収容定員	在学者数	
全 日 制 課 程	教育学科	40	3	120	16	
	普 通 科	グローバルサイエンスコース	180	165	360	166
		スポーツサイエンスコース	80			
		インターナショナルコース	20			
		中高一貫コース	80			
	普通科 計		360			
	普 通 科	特別進学コース			760	602
		進学理大コース				
		進学総合コース				
		生命動物コース				
機 械 科	アニメ・デザインコース					
	健康・スポーツコース 中高一貫コース					
全日制課程 計		400	168	1,400	879	
通信制課程 (広域) 普通科				600	169	
総 合 計		400	168	2,000	1,048	

(単位：人)

■卒業生数等一覧

(平成30年度)

区分	卒業生	就職希望者	就職者	就職率	進学希望者	進学者	進学率	退学者・ 除籍者	休学者	留年者 ※
		A	B	B/A	C	D	D/C			
全日制課程	350	47	47	100%	303	293	97%	13	0	1
通信制課程	52	18	10	56%	27	27	100%	9	5	0

※ 修業年限を超えて在籍している生徒数 (平成31年4月1日現在)

(単位：人)

主な就職先	JFEスチール(株)、トヨタ自動車(株)、(株)アソシエーツ、ダイハツ工業(株)本社、アイシン精機(株)、倉敷化工、JFE物流、岡山日野自動車(株)、いすゞ自動車中国四国(株)、三井造船(株)、コアテック(株)、品川リファクトリーズ(株) 他
主な進学先	筑波大学、岡山大学、信州大学、島根大学、鹿児島大学、岡山県立大学、広島市立大学、青山学院大学、駒澤大学、東洋大学、成城大学、日本大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学、甲南大学、岡山理科大学、倉敷芸術科学大学、千葉科学大学、吉備国際大学 他

■教職員数

(平成30年5月1日現在)

校長	教頭	教諭	教員 計	事務職員
1	2	59	62	14

(単位：人)

財務関係

■事業活動収支

(単位：千円)

年度		30年度 決算額	前年度 決算額	
科目				
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金収入	499,205	634,232
		経常費等補助金	277,920	325,967
		その他収入	167,897	54,474
		計	945,022	1,014,673
	支出	人件費	924,449	926,452
		教育研究経費	244,866	243,605
		管理経費	120,932	140,008
		その他支出	0	19
計	1,290,247	1,310,084		
教育活動収支差額		△345,225	△295,410	
教 活 外	収入	受取利息等 2	2	
	支出	借入金利息等 9,600	11,256	
	教育活動外収支差額	△9,599	△11,254	
経常収支差額		△354,824	△306,664	
特 別	収入	資産売却差額等 12,055	6,900	
	支出	資産処分差額等 5,408	227	
	特別収支差額	6,647	6,673	
基本金組入前収支差額		△348,177	△299,991	
基本金組入額合計		△439,365	△251,486	
当年度収支差額		△787,541	△551,477	

岡山理科大学附属高等学校
中期計画の進捗状況一覧

教育の充実	H29	H30	R1	R2	R3	中期計画
1 - 1 サイエンスおよびグローバル教育の推進 - 2 アクティブ・ラーニングの推進 - 3 ICT活用教育の推進 - 4 国際バカロレア(IB)教育プログラムの導入	●	●	●	●	●	教育プログラムの充実
2 - 1 関連校との高大連携による質の高い教育の提供 - 2 提携企業等と連携した教育の提供	●	●	●	●	●	高大連携および社会と連携した教育の推進
3 - 1 基礎学力向上への取組み - 2 シラバスの作成	●	●	●	●	●	基礎学力向上への取組み
4 - 1 英語教育の強化	●	●	●	●	●	英語教育の強化
5 - 1 教育相談体制の充実	●	●	●	●	●	教育相談体制の充実
生徒指導	H29	H30	R1	R2	R3	中期計画
1 - 1 あいさつ・マナー教育 - 2 情報モラル指導	●	●	●	●	●	あいさつ・マナー向上
進学・就職指導	H29	H30	R1	R2	R3	中期計画
1 - 1 進学指導プログラムの充実 - 2 関連校への進学支援 - 3 進学先の開拓	●	●	●	●	●	進学実績の向上
2 - 1 就職試験対策の充実 - 2 就職先の開拓 - 3 資格取得のための支援充実	●	●	●	●	●	就職支援の強化
国際交流	H29	H30	R1	R2	R3	中期計画
1 - 1 交流協定校との交流	●	●	●	●	●	国際理解と貢献
生徒募集	H29	H30	R1	R2	R3	中期計画
1 - 1 オープンスクール・入試セミナーの充実 - 2 ホームページの積極活用 - 3 中学校訪問・中学校対象説明会 - 4 塾訪問・塾対象説明会 - 5 地区別入試説明会	●	●	●	●	●	広報活動の強化
2 - 1 入試制度の検討と見直し	●	●	●	●	●	入試制度の再検討
内部質保証	H29	H30	R1	R2	R3	中期計画
1 - 1 教職員の資質向上への取組み - 2 公開授業の実施と検証 - 3 生徒等への授業アンケートの実施	●	●	●	●	●	教育力・指導力の向上への取組み
組織力強化	H29	H30	R1	R2	R3	中期計画
1 - 1 学校運営会議の強化	●	●	●	●	●	学校全体の運営を図るために、決定権限の強化並びに実行
2 - 1 教科会議の強化・連携 - 2 各科の合同会議	●	●	●	●	●	教科会議並びに、各科合同会議実施と情報の共有化
3 - 1 職員会議の強化	●	●	●	●	●	職員会議での意思統一
通信制課程の取組み	H29	H30	R1	R2	R3	中期計画
1 - 1 平日コースの充実 - 2 進路先の開拓と充実 - 3 生徒募集活動の強化	●	●	●	●	●	生徒ひとりひとりの希望・資質に適合し、ニーズに合った指導の実施